

2012年の中小企業の景況見通し

～「中小企業景況調査」の付帯アンケート結果報告～

主な調査結果

1 2012年の中小企業の業況判断は、2011年に比べてやや悪化する見通し

2012年の業況判断DIは3.7と、2011年実績（見込み）に比べて4.6ポイント低下する見通しとなっている。
需要分野別にみると、設備投資関連や乗用車関連、家電関連といった外需関連分野では低下している一方、建設関連や食生活・衣生活関連といった内需関連分野では上昇している。

2 経営上の不安要素として、「取引先の海外生産進展」「海外経済の減速による輸出減少」などの割合が上昇

2012年に向けての不安要素として、「原材料価格、燃料コストの高騰」「取引先の海外生産進展」「海外経済の減速による輸出減少」などの割合が、前年調査に比べ上昇している。
一方、2012年に注力する分野として、「人材の確保・育成」「新製商品・サービスの開発、新規事業の立ち上げ」「海外事業展開」などの割合が、前年調査に比べ上昇している。

調査の要領

調査時点	2011年11月中旬
調査対象	<u>三大都市圏</u> の当公庫取引先900社（首都圏454社、中京圏140社、近畿圏306社）
有効回答企業数	536社
回答率	59.6%

<お問い合わせ先>

東京都千代田区大手町1-8-2

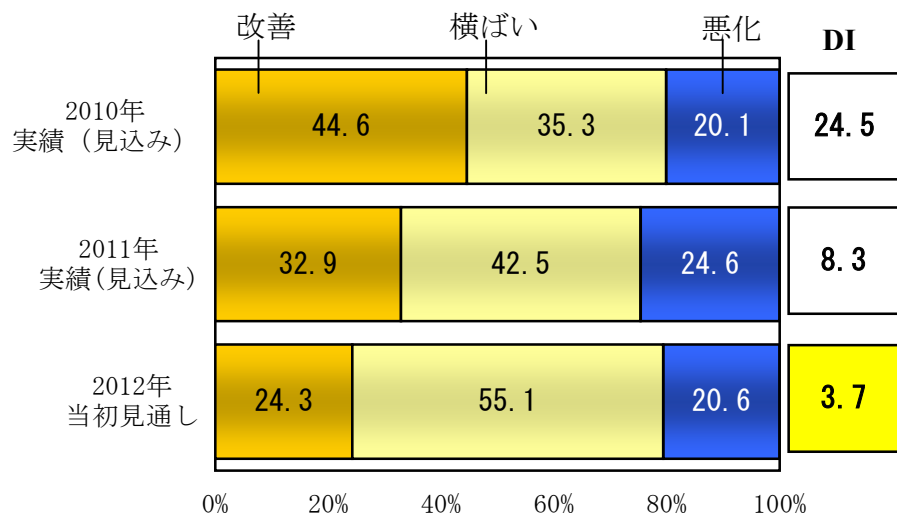
株式会社日本政策金融公庫 総合研究所 中小企業研究第一グループ

（担当：安池、武士俣）TEL 03-3270-1704

1 業況判断の見通し

- 2012年の業況判断DIは3.7と、2011年実績（見込み）から4.6ポイント低下する見通しとなっている。
- 需要分野別にみると、設備投資関連や乗用車関連、家電関連といった外需関連分野では低下している一方、建設関連や食生活関連、衣生活関連といった内需関連分野では上昇している。

図一 業況判断



(注) 業況判断DIは前年比で「改善」－「悪化」企業割合

<参考> 需要分野別の業況判断

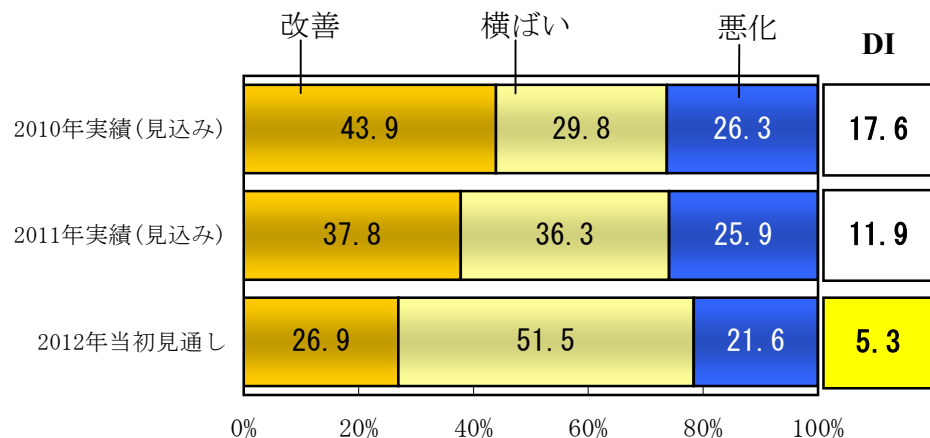
需要分野	年次	改善 (%)	横ばい (%)	悪化 (%)	DI
(1) 建設関連	2010年実績 (見込み)	28.7	40.7	30.6	▲1.9
	2011年実績 (見込み)	28.3	51.9	19.8	8.5
	2012年当初見通し	27.9	53.8	18.3	9.6
(2) 設備投資関連	2010年実績 (見込み)	59.8	29.0	11.2	48.6
	2011年実績 (見込み)	46.2	35.9	17.9	28.3
	2012年当初見通し	23.7	52.6	23.7	0.0
(3) 乗用車関連	2010年実績 (見込み)	67.2	18.7	14.1	53.1
	2011年実績 (見込み)	32.1	41.5	26.4	5.7
	2012年当初見通し	19.6	51.0	29.4	▲9.8
(4) 家電関連	2010年実績 (見込み)	56.6	35.9	7.5	49.1
	2011年実績 (見込み)	30.4	44.6	25.0	5.4
	2012年当初見通し	15.8	54.4	29.8	▲14.0
(5) 食生活関連	2010年実績 (見込み)	42.9	40.8	16.3	26.6
	2011年実績 (見込み)	27.1	45.8	27.1	0.0
	2012年当初見通し	29.2	62.5	8.3	20.9
(6) 衣生活関連	2010年実績 (見込み)	31.4	51.5	17.1	14.3
	2011年実績 (見込み)	30.6	22.2	47.2	▲16.6
	2012年当初見通し	29.4	50.0	20.6	8.8

(注) 各企業の取り扱う製商品のうち、最もウエイトの大きいものについての最終需要先を開き取り、その需要分野別に集計

2 売上高・収益の見通し

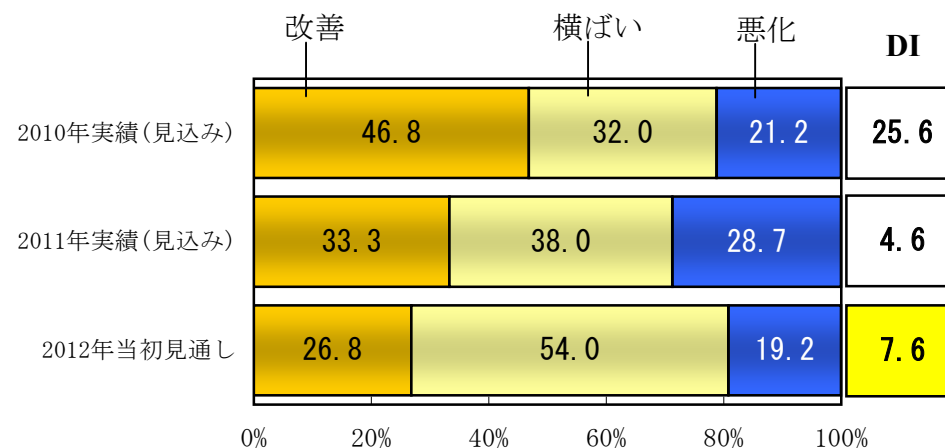
- 2012年の売上高DIは5.3と、2011年実績（見込み）から6.6ポイント低下する見通しとなっている。
- 2012年の経常利益額DIは7.6と、2011年実績（見込み）から3.0ポイント上昇する見通しとなっている。

図－2 売上高



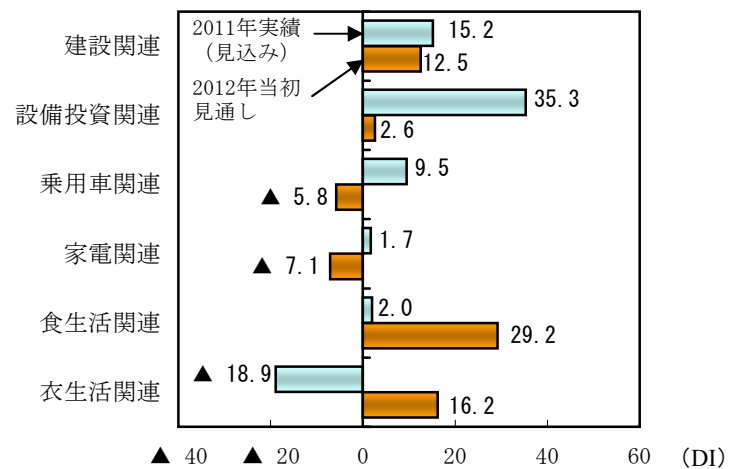
(注) 売上高DIは前年比で「増加」－「減少」企業割合

図－3 経常利益額

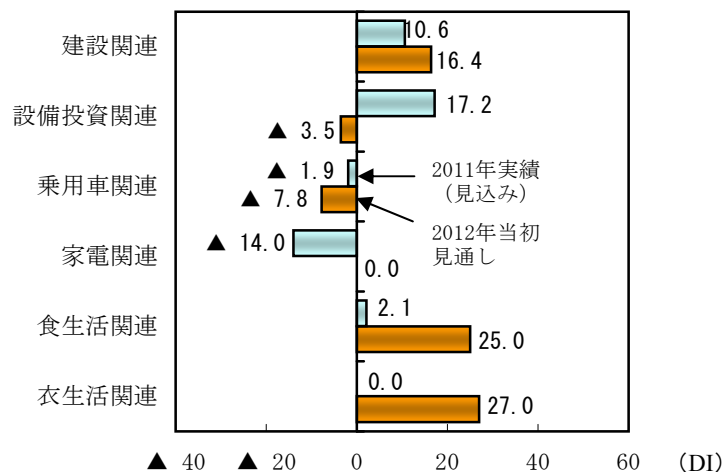


(注) 経常利益額DIは前年比で「増加」－「減少」企業割合

<参考> 需要分野別の売上高DI



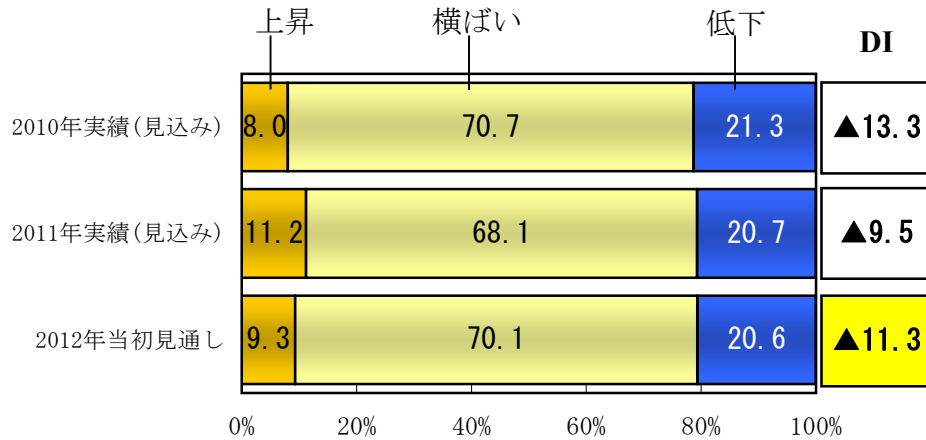
<参考> 需要分野別の経常利益額DI



3 価格の見通し

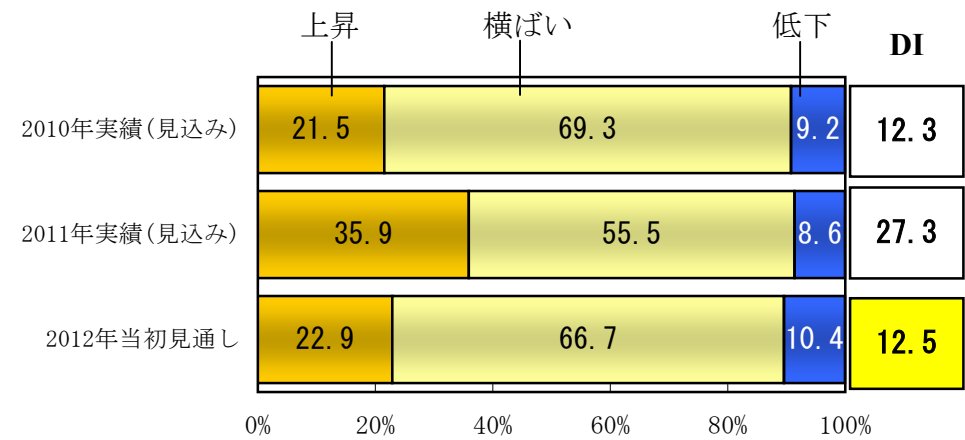
○ 2012年の販売価格DI、仕入価格DIともに、2011年実績（見込み）から低下する見通しとなっている。その低下幅は仕入価格DIにおいて大きくなっている。

図－4 販売価格



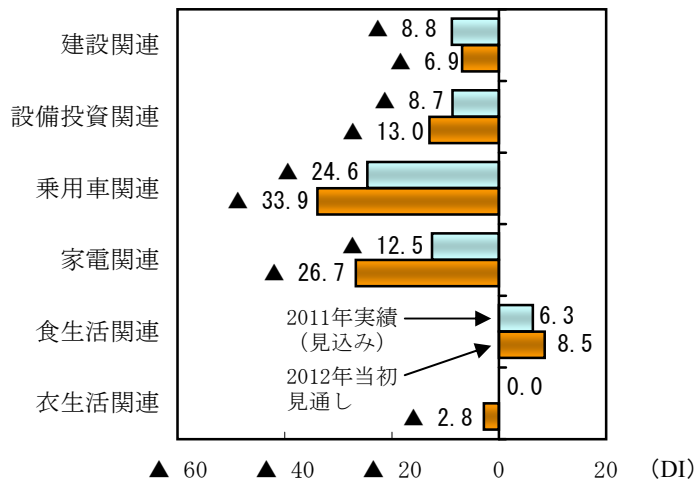
(注) 販売価格DIは前年比で「上昇」－「低下」企業割合

図－5 仕入価格

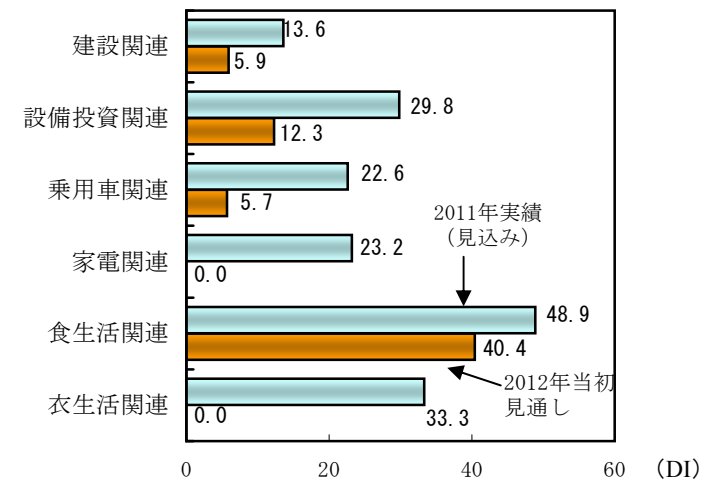


(注) 仕入価格DIは前年比で「上昇」－「低下」企業割合

<参考> 需要分野別の販売価格DI



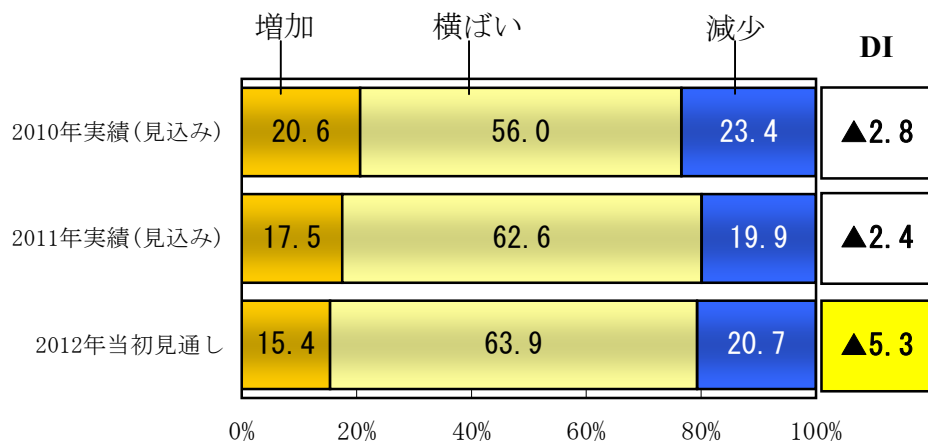
<参考> 需要分野別の仕入価格DI



4 設備投資・雇用の見通し

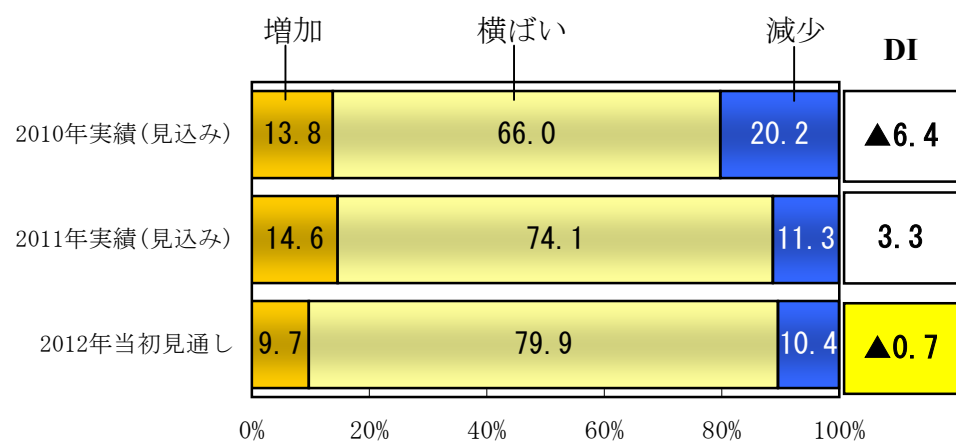
- 2012年の設備投資額DIは▲5.3と、2011年実績（見込み）から2.9ポイント低下する見通しとなっている。
- 2012年の従業員数DIは▲0.7と、2011年実績（見込み）から4.0ポイント低下する見通しとなっている。

図－6 設備投資額



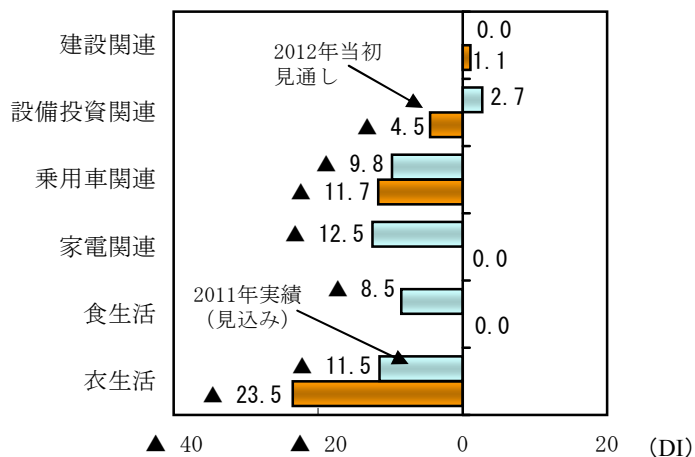
(注) 設備投資額DIは前年比で「増加」－「減少」企業割合

図－7 従業員数

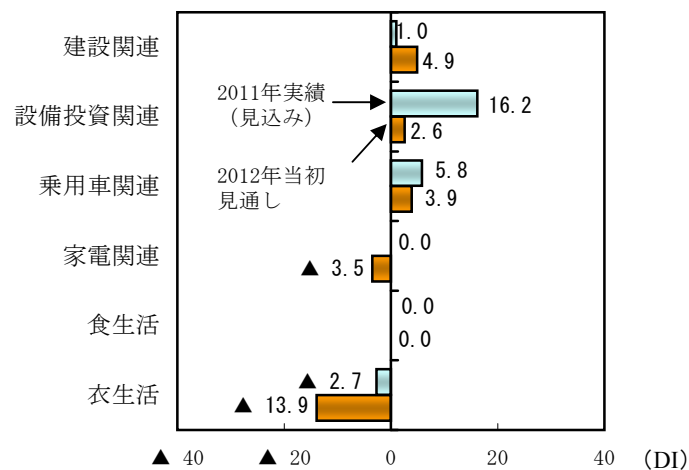


(注) 従業員数DIは前年比で「増加」－「減少」企業割合

<参考> 需要分野別の設備投資額DI



<参考> 需要分野別の従業員数DI

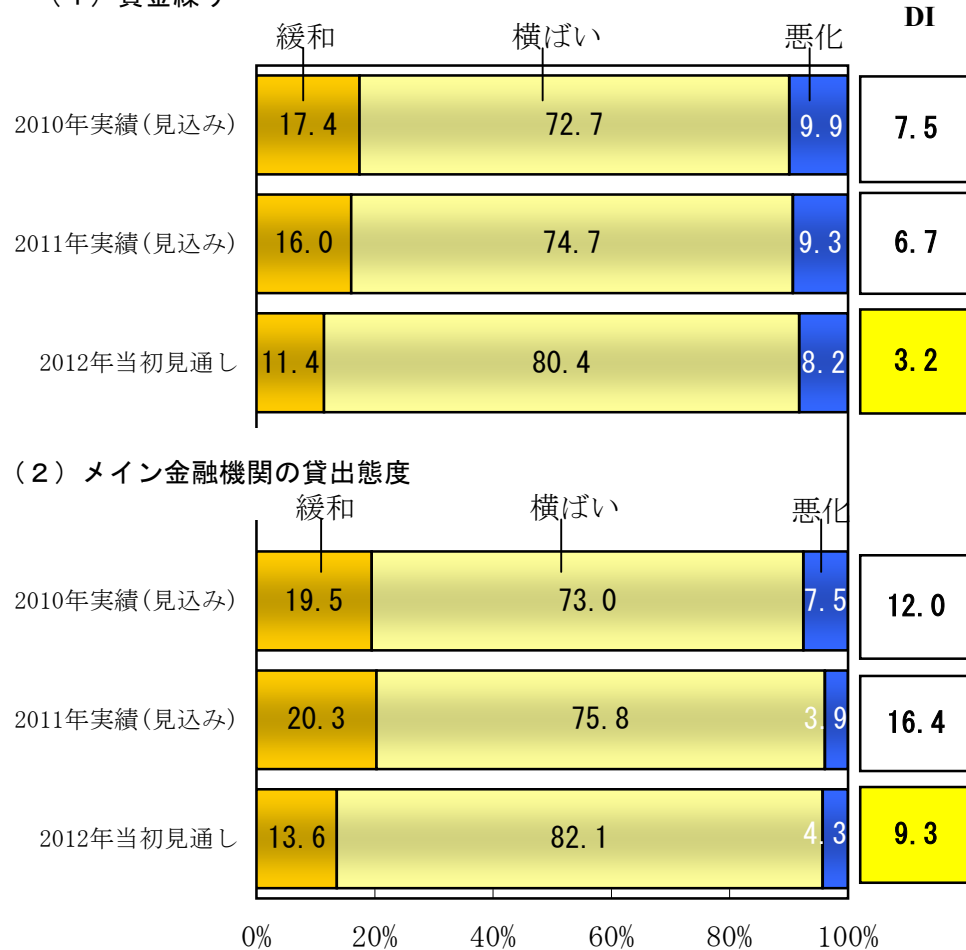


5 金融の見通し

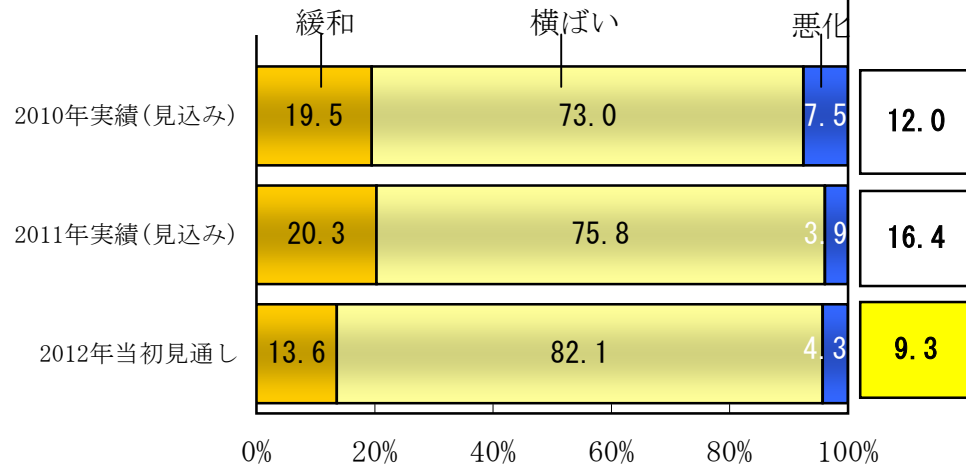
○ 2012年の資金繰りDI、貸出態度DI、借入残高DIは、2011年実績（見込み）から低下する見通しとなっている。

図－8 金融関連

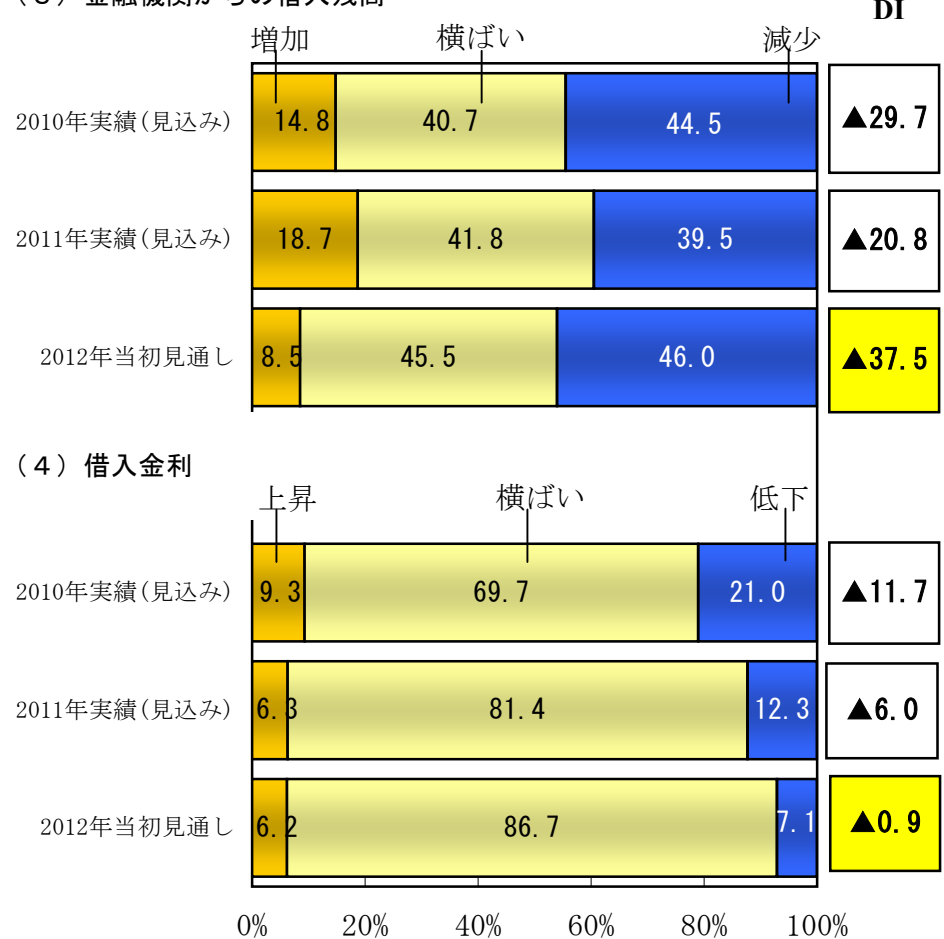
(1) 資金繰り



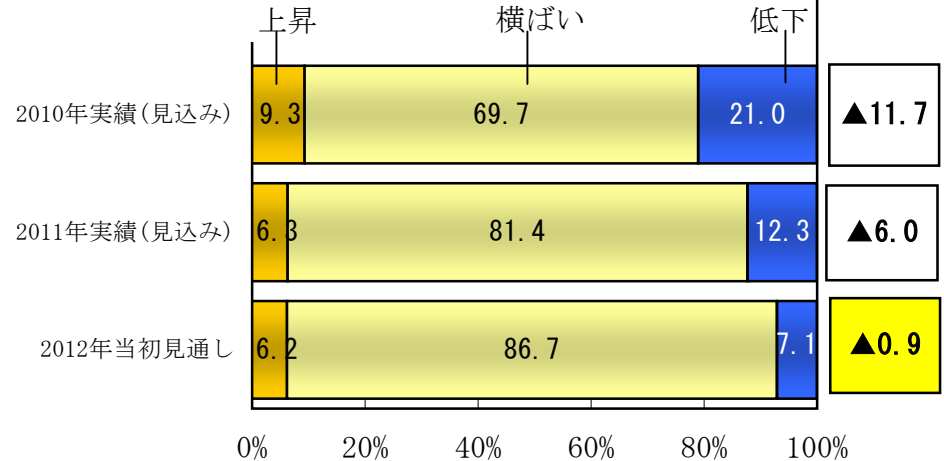
(2) メイン金融機関の貸出態度



(3) 金融機関からの借入残高



(4) 借入金利

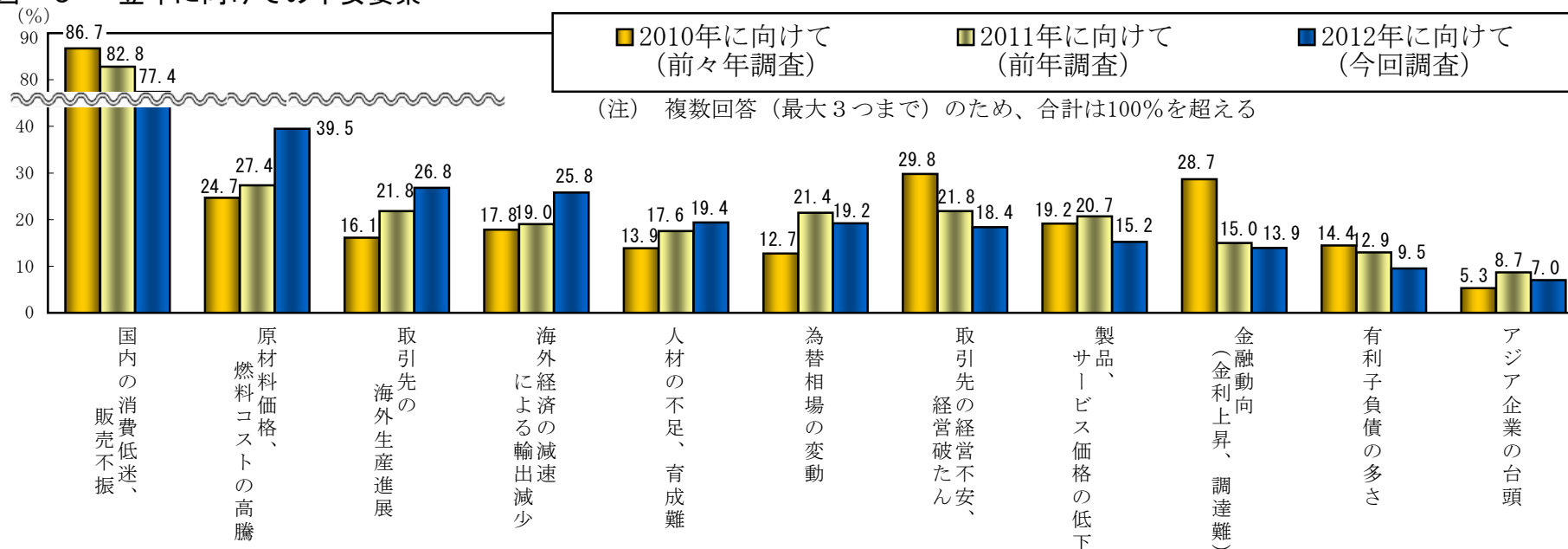


(注) 資金繰りDI、メイン金融機関の貸出態度DIは前年比で「緩和」－「悪化」企業割合
 金融機関からの借入残高DIは前年比で「増加」－「減少」企業割合
 借入金利DIは前年比で「上昇」－「低下」企業割合

6 経営上の不安要素

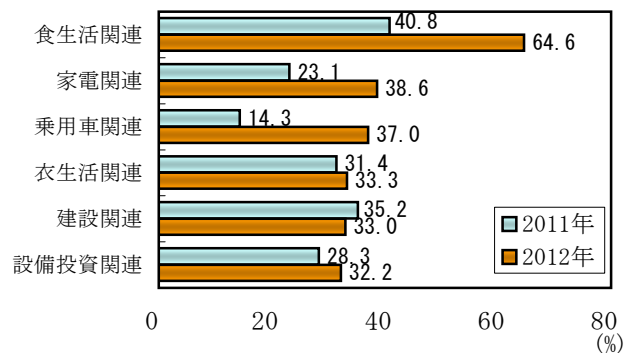
- 2012年に向けての不安要素は、「国内の消費低迷・販売不振」が、これまで同様最も高い割合を占めている。
- 「原材料価格、燃料コストの高騰」「取引先の海外生産進展」「海外経済の減速による輸出減少」などの割合が、前年調査から上昇している。

図-9 翌年に向けての不安要素

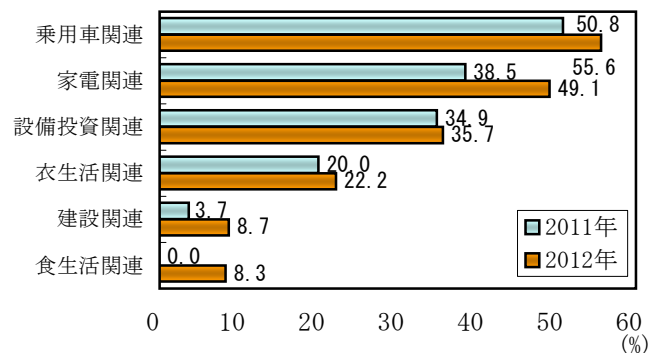


<参考> 需要分野別

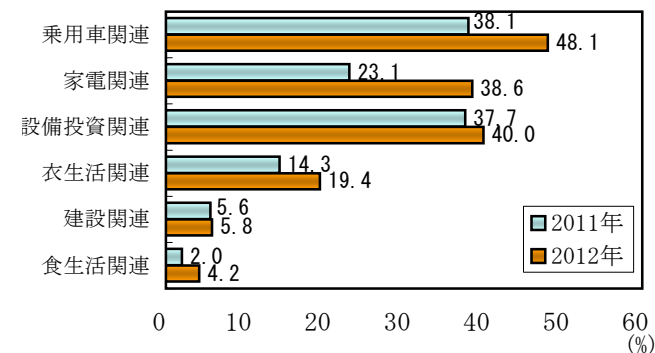
【原材料価格、燃料コストの高騰】 (割合の高い分野順)



【取引先の海外生産進展】 (割合の高い分野順)



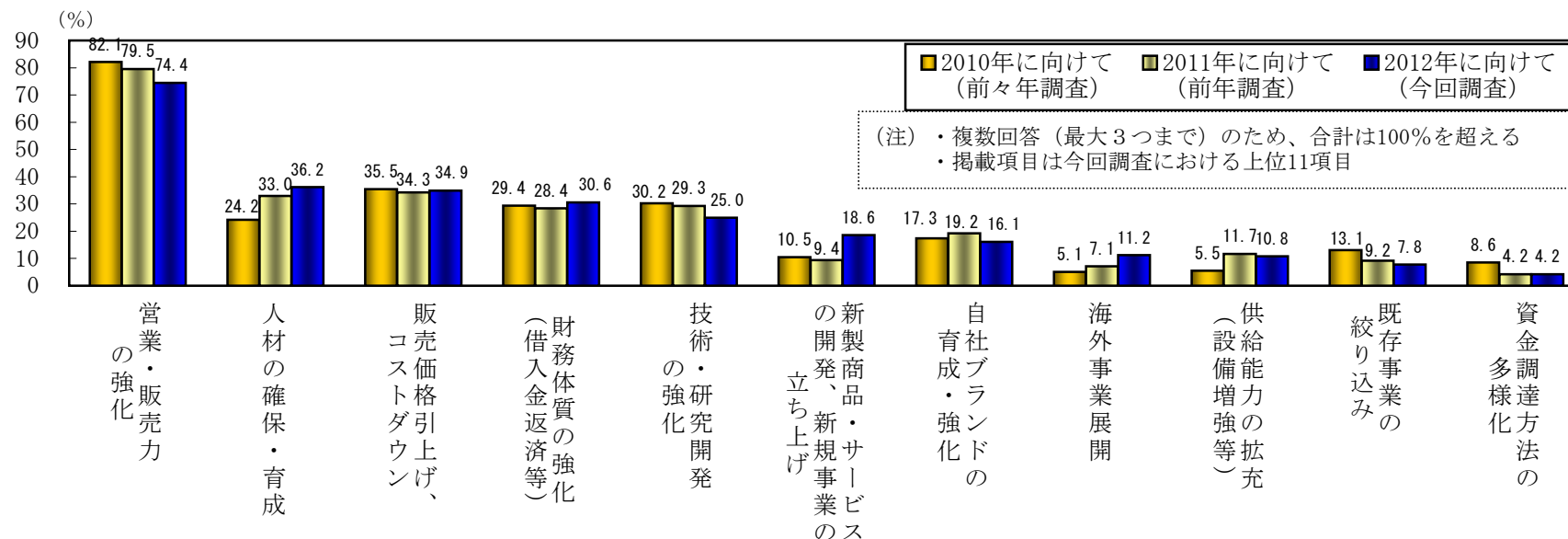
【海外経済の減速による輸出減少】 (割合の高い分野順)



7 経営基盤の強化に向けて注力する分野

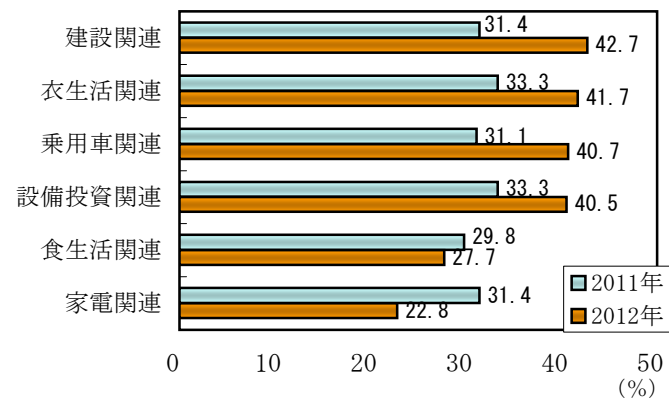
- 2012年に注力する分野は、「営業・販売力の強化」がこれまで同様、最も高い割合を占めている。
- 「人材の確保・育成」「新製商品・サービスの開発、新規事業の立ち上げ」「海外事業展開」などの割合が、前年調査から上昇している。

図-10 経営基盤の強化に向けて注力する分野

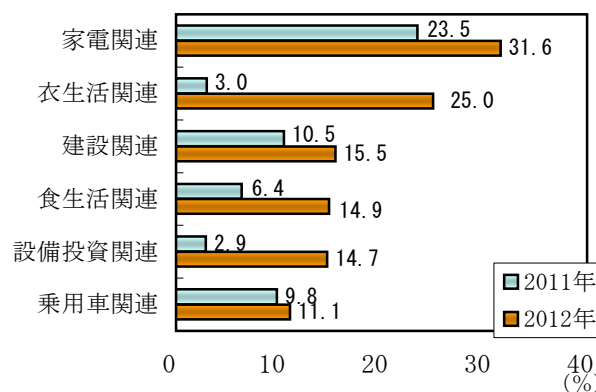


<参考> 需要分野別

【人材の確保・育成】 (割合の高い分野順)



【新製商品・サービスの開発など】 (割合の高い分野順)



【海外事業展開】 (割合の高い分野順)

